

北部イベント

医療安全研修会 ～強力磁場体験～

中央棟 1階MRI検査室

当院では、毎年新入職員の配属される春とそれ以降職務に慣れた頃の年3回、医療安全の一環として、MRI検査室の強力磁場体験訓練(MR 実地体験)を行っております。

ひとえに、MRIの磁場は非常に強力なのだと言われても、また、海外では、酸素ボンベが強力な磁場に吸い寄せられ、検査中の患者さんに衝突したという事例が発生していると言われても、「どれだけの磁力なの???'と想像の域を出ません。百聞は一見に如かず、実際に自分の身体で感じてもらうようにと体験研修を実施しております。

(因みに当院のMRI検査装置の磁力は15,000 Gaussと30,000 Gaussの2台です)参加の対象は、新入職員(臨床研修医や看護師)は必須とし、看護補助員および希望者です。

体験はまず、放射線部の技師による概論説明を受け、その後実際に検査室に入って、遠いところの微弱な磁場から徐々に近づいて強力な磁場を実際に体験します。

検査を受けられる患者さんには、貴金属はないですか? アクセサリーは外しましたか? 等々と質問させていただいておりながら、スタッフがポケットに貴金属類(ボールペン等)を入れたまま、もしくは髪をピンで止めたまま検査室内に入り、それがMRI検査装置に張り付いた、等という事になると大変お粗末です。そのような事が発生しないようにと企画している体験です。

入職して間もないことから研修に参加する緊張感と、研修により得た危機意識を忘れることなく、患者さんの安全を守ることを念頭に勤務していきます。

なお、6月には安全研修第2弾として、AED(体外徐細動機)操作研修を予定しています。



検査室内の様子

患者さまへのお知らせ・お願い

新型インフルエンザ対策へのご協力をお願い

新型インフルエンザのまん延が予測されています。

院内感染を予防するため、病院へお越しの皆さま(患者さま、お見舞いに来られた方) 病院内では、**必ずマスクの着用**をお願いいたします。

また、**熱のある方や7日以内に高熱のあった方のご面会**はしばらく間、**禁止**とさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

また、マスクが手に入りづらいという皆さまからのお声を受けて、病院正面玄関脇にマスク専用の自動販売機を設置しました。

1日の販売枚数に限りがありますが、1組2枚入り、100円です。ご利用ください。



ロビーコンサートの中止のお知らせ

上記のように、新型インフルエンザへの感染予防対策として、しばらくの間、ロビーコンサートを中止とさせていただきます。

(6月開催予定の2件につきましては、中止となります。)

演奏会を楽しみにして下さっている方、大変申し訳ございませんが、何とぞ、ご理解くださいますよう、よろしくをお願いいたします。

インフルエンザの流行が落ち着き、ロビーコンサートが再開できる状況になりましたら、病院だより、院内掲示板等にて、開催のご案内をさせていただきます。

編集後記

毎年春になると医師もコメディカルも新人が来ますが、今年も前途が楽しみな若者が沢山入ってきてくれました。学生実習も春から夏にかけてがピークで、病院は若い息吹で満ち溢れています。一方春は送別の季節でもあり、北部病院を巣立っていった人たちも大勢ありました。患者さんも、会社の異動に伴って別の病院に移った方もあれば、新しく紹介されて来られた方もおられます。春の訪れをめでのも束の間、今年は新型インフルエンザの嵐が吹き荒れ、一般市民の方も随分ご心配であったことと存じます。今月初めには北部病院にとって、実に悲しい事件もありました。またこの瞬間もテレビではある17-の悲惨な死の報道をしています。ここ1ヶ月ほど人の命の危うさや儚さを思い知ったことはなかったかもしれません。

しかしそれでも、人間は一生懸命生きるしかないのです。患者さんは勿論のこと、我々医療従事者も必死で仕事をし、懸命に生きています。お互いに少しでも多く笑顔でいられるよう、手を携えて頑張っていきましょう。 委員会 委員 榎田 博史

北部病院だより 第55号

平成21年6月1日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL : http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』

が参照できます。

北部病院だより 第55号

第55号【2009/06/01 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

巻頭言

『人のつながり』

内科 准教授 坂下 暁子

医師の配属・異動・退職
外来予定表
臨床研修医の紹介

北部イベント
病院からのお知らせ
新型インフルエンザ対策について
ロビーコンサート休止のお知らせ

編集後記



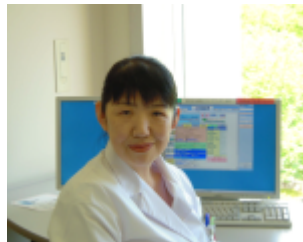
お花が香り、緑薫る季節になりました。

巻頭言

『人のつながり』

私は当院で毎年20件ほど調整医師として骨髄移植のコーディネートをしています。

骨髄では赤血球、白血球、血小板が休むことなく造られており、その中には血球のもとになる造血幹細胞が含まれています。白血病や再生不良性貧血など造血幹細胞の異常で正常な血液が造れなくなる病気の患者さんのなかには、骨髄移植という病気に冒された造血幹細胞を健康なものに置き換える治療でしか治療を望めない方がいます。健康な骨髄を提供して下さる人が骨髄ドナーです。骨髄移植をするには患者さんとドナーの白血球の血液型(HLA; Human Leukocyte Antigen)が一致する必要があります。一般的にいわれるA, B, AB, O型といった血液型は赤血球の型で、骨髄移植は赤血球の型が合わなくても可能です。HLA型は対になっており、両親から片方ずつ受け継ぐため、兄弟姉妹間では最大4種類に分かれ、4分の1の確率で一致します。骨髄移植に必要な患者さんでHLAの一致した血縁者がいない場合、骨髄バンクにドナー検索を依頼します。複数のドナーが適合した場合、5人まで並行してコーディネートを進めることができます。この各々のコーディネートに対しコーディネーターと調整医師が選ばれます。そしてドナー候補者、コーディネーター、調整医師が集まり、詳しい骨髄移植の説明とこれまで発生した骨髄採取の合併症についての話しをします。これらの説明後も骨髄提供の意志に変わりがない場合は確認検査に進みます。



内科

准教授

坂下 暁子

確認検査とはドナーの健康状態とHLA型の更に詳しい検査のことです。その結果を見て患者さんの主治医はドナー候補者の中からドナーを選定します。

ドナーは骨髄採取前後の健康診断や骨髄採取時に輸血する自己血を用意するために7回前後病院に行かなければなりません。骨髄採取は全身麻酔で行われ、入院はだいたい4日間です。大変な身体的、精神的負担があることですが、まったくのボランティアで金銭的な報酬はありません。ドナーの多くは人の役に立てるのならばという動機でドナー登録をされていますが、実際ドナー候補になり骨髄採取の説明を受けた時点で、思っていたよりずっと大変なことだとわかる方も多いと思います。そこで骨髄提供を断る人がいても不思議ではないのですが、私が出会った百数十人のドナーの多くは淡々と骨髄提供を承諾されました。当院では骨髄移植を行っていないので調整医師としてのみ骨髄バンクに関わっていますが、以前に7年間勤務していた病院では骨髄移植が必要な患者の主治医として骨髄バンクのお世話になっていました。ドナーは骨髄提供に同意してくれるだろうかと不安な日々を過ごしたことを思い出します。骨髄は移植病院の医師が直接取りに行くことになっているので北は仙台から南は沖縄まで骨髄を受け取に行きました。手術室の前で待っていると手術着姿の採取担当医が骨髄を抱えて出てきます。ほとんどが初めて会う医師なのですが一人の患者さんのために働いているという一種の連帯感と感謝の気持ちがかかります。「ドナーさんによるしくお伝えてください」「移植、頑張ってください。うまくいくようお祈りしています」と短い言葉をかわすすぐに帰路につきます。骨髄は採取後24時間以内に移植しなければなりません。また、患者さんは移植のための前治療を受けており骨髄を移植できなければ命にかかわる状況です。何が何でも無事に骨髄を運ばなければなりません。私が抱えている骨髄にはドナーさん、ドナーさんを心配しているそのご家族、骨髄採取スタッフ、コーディネーター、調整医師の思いが籠められています。その思いはひとりの人を助けたいという思いでしょうか。骨髄は普通の輸血のように点滴で患者さんに移植します。移植した骨髄が働いて血液を造り出すまでには時間がかかるのですが、骨髄を点滴している時から患者さんに笑顔が見られ、活気がでてくるのはみんなの思いが伝わるからではないでしょうか。ひとついいなとつくづく感じます。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

～5/1付

 井上 学 (内科) 昭和大学 平成14年卒	 新井 美奈子 (麻酔科) 岡山大学 平成10年卒	 青木 明子 (呼吸器センター) 藤田保健衛生大学 平成16年卒	 堀内 一哉 (呼吸器センター) 山形大学 平成19年卒
 吉松 軍平 (消化器センター) 東北大学 平成12年卒	 西脇 裕高 (消化器センター) 愛知医科大学 平成14年卒	 鈴木 道隆 (消化器センター) 東京医科大学 平成16年卒	 工藤 孝毅 (消化器センター) 昭和大学 平成19年卒
 矢川 裕介 (消化器センター) 昭和大学 平成19年卒	 松平 真悟 (消化器センター) 昭和大学 平成19年卒	 中村 大樹 (消化器センター) 昭和大学 平成19年卒	 石垣 智之 (消化器センター) 昭和大学 平成19年卒
 山下 賢之介 (心臓血管カテ-リ室) 千葉大学 平成19年卒	 笹森 大貴 (メンタルセンター) 東京医科大学 平成18年卒	 吉澤 徹 (メンタルセンター) 昭和大学 平成19年卒	 三輪 善之 (こどもセンター) 昭和大学 平成15年卒
 長瀬 隆明 (こどもセンター) 昭和大学 平成18年卒	 戸嶋 洋和 (内科) 昭和大学 平成19年卒	 武重 由依 (内科) 昭和大学 平成19年卒	 衛藤 志保 (泌尿器科) 京都府立医科大学 平成15年卒
 後藤 洋平 (眼科) 昭和大学 平成17年卒	 藤井 智子 (麻酔科) 昭和大学 平成19年卒	この先からは、 附属病院からの異動医師の 紹介です。	
 石部 穂 (メンタルセンター) 烏山病院 精神医学教室より	 田村 利之 (メンタルセンター) 烏山病院 精神医学教室より	 長谷部 義幸 (こどもセンター) 藤が丘病院 内科内分泌代謝より	 塚田 大樹 (こどもセンター) 藤が丘病院 小児科より
 安藤 直子 (産婦人科) 昭和大学医学部 産婦人科学教室より	 鈴木 美雪 (耳鼻咽喉科) 昭和大学医学部 耳鼻咽喉科学教室より	 藤島 裕丈 (脳神経外科) 昭和大学医学部 脳神経外科学教室より	 尾松 睦子 (病理科) 昭和大学医学部 第一病理学教室より
 奥村 太輔 (泌尿器科) 昭和大学医学部 泌尿器科学教室より			

【配置転換】

宮地 英行 (救急センター)	消化器センター	伊藤 寛晃 (消化器センター)	救急センター
斎藤 重男 (救急センター)	心臓血管カテ-リ室)		

【出張終了】

鈴木 浩介 (呼吸器センター)	配置転換	救急センターへ)
林 靖子 (消化器センター)	森川 吉英 (消化器センター)	
森 悠一 (消化器センター)	及川 裕将 (消化器センター)	

異動・退職医師

～4/30付

【退職】

蟹江 浩 (消化器センター)	亀田 亮 (消化器センター)	山邊 陽子 (循環器センター)
谷口 貴実子 (こどもセンター)	坂 龍太 (こどもセンター)	竹内 正宣 (こどもセンター)
川本 愛里 (こどもセンター)	筆谷 ルミ子 (メンタルセンター)	菊池 雷太 (内科)
内田 奈名子 (内科)	馬場 麻衣子 (放射線科)	小山 壽美江 (産婦人科)
工藤 勝秀 (外科)	菅原 草 (泌尿器科)	山家 祐美 (麻酔科)
下山 裕子 (麻酔科)		

【長期出張】

竹村 織江 (消化器センター)	久行 友和 (消化器センター)	久津川 誠 (消化器センター)
塩飽 洋生 (消化器センター)	三澤 将史 (消化器センター)	御子柴 幸 (心臓血管カテ-リ室)
星野 顕宏 (こどもセンター)	前田 智子 (泌尿器科)	藤居 直和 (耳鼻咽喉科)

【転出・異動】

稲垣 克記 (医学部整形外科学教室へ)	植松 秀護 (藤が丘病院呼吸器外科へ)
桑名 亮輔 (医学部脳神経外科学教室へ)	黒沢 顕三 (烏山病院精神医学教室へ)
内田 充彦 (烏山病院精神医学教室へ)	遠藤 貴美 (医学部眼科学教室へ)
常岡 俊昭 (烏山病院精神医学教室へ)	



久松 篤 昭和大学卒業
5月 麻酔科
6月 消化器センター(内科)

初めまして、昭和大学出身の久松篤と申します。
大学時代はゴルフ部に所属していました。春夏には、ゴルフを、秋冬には中高時代にやっていたバスケットボールをやっていました。体を動かす事が何よりも大好きなので、是非スポーツをやるときは誘っていただきたいと思っています。
現在は、麻酔科にお世話になっておりますが、日々、先生方をはじめ看護師、スタッフの方々に迷惑をかけ続けている毎日です。
至らない点がとてもたくさんありますが、日々一步一步精進して頑張っていきたいと思っていますので、皆さま、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ申し上げます。



松本 祐樹 昭和大学卒業
5月 外科
6月 同上

はじめまして。昭和大学出身の松本祐樹と申します。
大学ではアイスホッケー部に所属していました。
北部病院で研修できることを大変光栄に思っております。北部病院の研修医になってもうすぐ1ヶ月になりますがまだまだわからないことばかりで日々を不安に過ごしています。先生方、スタッフの皆さまには色々多くのご迷惑をおかけしておりますが、少しずつでもわからないことをなくしていき、一人前の研修医として働き、皆さまにご迷惑をおかけしないようにしていきたいと思っております。
現在は外科のほうで研修させていただいておりますが、皆さまの温かいご指導のおかげで充実した毎日を送らせていただいております。これからの研修医としての2年間を精一杯頑張っていきたいと思いますのでご指導のほどよろしくお願ひいたします。



山村 亮 聖マリアンナ医科大学卒業
5月 外科
6月 同上

どうも初めまして。聖マリアンナ医科大学出身の山村 亮と申します。出身は京都で最近標準語の混じった胡散臭い言語を駆使します。
学生時代は硬式テニス部に所属しており、昭和テニス部とはかなり交遊がありました。
現在外科で研修をしておりますが、ご指導ご鞭撻をいただければ毎日の毎日です。体力だけならいけるクチですが、医学の方も日々頑張っていく所存です。
まだ迷惑ばかりかけますが、どうか長い目で見守ってください。よろしくお願ひ致します。



肥田 典子 鳥取大学卒業
5月 麻酔科
6月 呼吸器センター(内科)

初めまして。この度研修させていただくことになりました肥田典子と申します。鳥取大学出身です。
大学6年次に見学させていただいた時に、先生方が熱心に指導して下さったので、研修を行うなら是非こちらで行いたいと思いましたが、実際に研修が始まって、初めてのことで慣れない私に、多くの先生方やスタッフの方が優しく、時に厳しく指導して下さり、大変感謝しております。
これからの2年間で知識や技術を身につけるのはもちろんのこと、医師としての姿勢や態度を学んでいきたいと思っております。まだまだ未熟な点ばかりですが、一日も早く患者さんや病院のお役に立てるよう、日々研鑽していきたいと思っております。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



道端 浩三郎 昭和大学卒業
5月 循環器センター(外科)
6月 同上

はじめまして、昭和大学出身の道端 浩三郎と申します。
学生時代は帰宅部で7年間ゆっくり勉強させていただきました。
4～6月と循環器センター(外科)で研修させていただいております。周りの方々には迷惑をお掛けしており、何もできない自分を患者さん方が医師として見てくださっていることに恥ずかしさを感じる毎日ですが、一つ一つできることが増えることに喜びを感じる毎日でもあります。
また2年目の研修医の先生達に感じる1年分の成長は目覚ましいものだと感じております。自分も1年後には新人研修医から頼られる先輩となっていられるように日々努力していきたいと思っております。皆さまにはご迷惑をお掛けすることになるかもしれませんが、北部病院のために僅かでも貢献できるよう頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

研修医オリエンテーション風景

今年度も22名の研修医を迎え、4月2日から10日まで各種オリエンテーションを行いました。

オリエンテーションは先ず病院長より、医師としてのあるべき姿、心構えを学び、1人の組織のスタッフとして、職種を越えて連携しながら、知識・技術を習得するよう訓辞がありました。

その後、医療安全に関すること、院内感染対策に関すること、診療記録の記載方法や薬剤に関することなど、それぞれの担当者からレクチャーや実技指導を受けました。最終日には、外部施設にて、人形を使った採血や導尿、気管挿管、そして、急変時の対応シミュレーションなどを体験しました。

オリエンテーションが終了した現在、研修医はそれぞれの診療科で研修を始めております。温かいご指導のほど、よろしくお願ひいたします。



平成21年度臨床研修医紹介


この4月、初期臨床研修医第6期生22名を迎い入れ、新年度がスタートしました。期待されるべき医療プロフェッショナルに少しでも近づけるよう、この2年間様々な科をローテーションしながら、大いに実力をつけていって下さい。学生実習とは異なり、まさにon the job training 毎日が自らを鍛える場です。しかし、ただ数多くの経験を積むというだけでは、なかなか医療のプロには近づけません。医学教育的な考えからすれば、目標を立て、方略を練り、評価を行う、このようなプロセスを繰り返しながら、問題の設定力や解決力が備わっていくのでしょうか。また、とかく専門的な知識の習得に目が奪われがちですが、医師としての技能や、人としての態度・習慣も同様に大切です。その一環として、北部病院では医療安全的な観点からも5S活動を推進しています。

我々指導医はグライダー曳航機のごとく、君たちが2年間の研修の後、大空に羽ばたいていってくれるよう力になりたいと思っています。どうか“将来の昭和の星”となるべく充実した研修生活を送って下さい。


臨床研修コーディネイト委員会 成島 道昭

表の見かた


研修医 顔写真	研修医氏名	出身大学
		5月 研修先診療科 6月 研修先診療科
自己紹介文		

 <small>写真はWEB版では 公開されていません</small>	荏原 誠太郎	昭和大学卒業 5月 救急センター 6月 緩和/画像
---	---------------	---------------------------------


初めまして。 昭和大学出身の荏原誠太郎と申します。
学生の時は硬式テニス部に所属していました。
研修が始まって一週間が経ちましたが、まだまだ何も出来ない自分の無力さを日々痛感しております。
これからも先生やスタッフの方々に長期間に渡って多大な迷惑をお掛けしてしまうと思いますが、少しでも早く皆さまに信頼して頂けるように一つ一つ精進を重ねていきたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

 <small>写真はWEB版では 公開されていません</small>	岡 ジェニファー 由衣	昭和大学卒業 5月 消化器センター(外科) 6月 同上
--	--------------------	-----------------------------------


はじめまして。昭和大学出身の岡ジェニファー由衣です。
名前のインパクトでびっくりされる方もいると思いますが、本人はごく普通の日本女子です。大学時代はゴルフ部に所属し、ひたすらグリーンを目指していました。ここ北部病院の周辺も広々として緑が多く、このような環境で研修できることをうれしく思っています。
現在は消化器外科を研修させて頂いております。まだわからないことが多く、戸惑うこともあると思いますが、毎日少しずつできることを増やし、医療スタッフの一員として役にたてるよう努力していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い致します。

 <small>写真はWEB版では 公開されていません</small>	新井 真衣	東邦大学卒業 5月 内科 6月 同上
---	--------------	--------------------------


はじめまして、東邦大学出身の新井真衣と申します。
大学6年生のときにこの北部病院を見学させて頂き、雰囲気や先生方、スタッフの温かさに惹かれ研修するならぜひここでやりたいと思いました。
研修医として働き始めてから、電子カルテや手技など少しずつ慣れてきている中まだ戸惑うことも多く、自分の未熟さを痛感しております。忙しい中でも毎日患者さんと触れ合うことで学べることも、また医師としての責任を感じおり、一つ一つのことを確実に身に付けるよう日々努力していこうと思っております。
この先2年間の研修において様々な壁にぶつかり戸惑うこともあるかと思いますが、何事にも一生懸命に考えて取り組み努力して参りますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

 <small>写真はWEB版では 公開されていません</small>	遠藤 千華子	東京女子医科大学卒業 5月 呼吸器センター(外科) 6月 同上
--	---------------	---------------------------------------


初めまして、東京女子医科大学出身の遠藤千華子と申します。
4月から呼吸器センター外科で研修させて頂き先生方、スタッフの方に支えられ日々楽しく働かせて頂いております。
私は現在まで24年間、日吉で生まれ育ちこの地で研修できること、小学校から女子校という環境で育ったので、新たな環境での研修を不安に思いつつ楽しみにして参りました。
中学から大学まで硬式テニス部に所属し、太陽の下でスポーツをする事が大好きなので機会を見つけ続けたいと思っています。
2年間の研修生活で常に人に対する感謝を忘れず、また患者さまを精神的にも支えられる医師の土台を作りたいと思っております。医師である前に人としてまだまだ未熟で至らない点多々あると思いますが、日々頑張っ参りますのでご指導の程よろしくお願い致します。

 <small>写真はWEB版では 公開されていません</small>	小淵 律子	東京女子医科大学卒業 5月 救急センター 6月 麻酔科
---	--------------	-----------------------------------


今年から2年間北部病院で研修させていただきます、小淵律子です。
北部病院で働かせていただけることをたいへん嬉しく思っております。
現在は新しい環境の中、分からないことの連続で反省の多い毎日ですが、多くのスタッフの方々、患者さまに支えていただいております。
これから2年間の研修期間中、日々一生懸命取り組み、ひとつひとつできることを増やしていきたいと思っております。
少しでも、患者さまや病院のお役に立てるよう努力致しますので、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い致します。

 <small>写真はWEB版では 公開されていません</small>	兼島 伸青	昭和大学卒業 5月 麻酔科 6月 救急センター
---	--------------	-------------------------------


はじめまして。今年の4月から北部病院で初期臨床研修をさせていただきますことになった昭和大学出身の兼島伸青です。
これから、2年間の初期臨床研修期間で医療従事者として必要な知識、技術をできる限り学びたいと考えています。また、学生ではなく社会人になったということで、体調管理をしっかり行い、生活リズムも整えられるようにしたいと思います。
4月から麻酔科で研修をさせていただいています。日々、自分の仕事のできなさから先生方、スタッフの皆さんに迷惑をかけてばかりです。
毎日少しずつではありますが、仕事ができるようになるように努力をしていきますので医師の先生方やスタッフの皆さん、これからご指導ご鞭撻のほどを宜しくお願いいたします。

 <small>写真はWEB版では 公開されていません</small>	小林 利行	京都府立医科大学卒業 5月 消化器センター(内科) 6月 同上
---	--------------	---------------------------------------


はじめまして、今年4月から北部病院で研修させていただくことになりました小林利行と申します。広島県福山市で生まれ育ち、大学時代は京都で過ごし、横浜で働くことになりました。学生時代はサッカー部に所属し、毎日のように汗を流していました。
4月から9月まで消化器センター(内科・外科)でお世話になります。医療の現場に立って初めて見てくることもたくさんあり、今はうまくできないことが多く先生方やスタッフの方々にご迷惑をおかけしています。また、自分が学生時代に如何に勉強してこなかったかということを感じている毎日です。
北部病院での研修では自分で何をすべきなのかを考え行動できることを目標として頑張りますので、ご指導をよろしくお願い致します。

 <small>写真はWEB版では 公開されていません</small>	洲崎 勲夫	昭和大学卒業 5月 消化器センター(内科) 6月 救急センター
---	--------------	---------------------------------------


はじめまして、昭和大学出身の洲崎勲夫と申します。
学生時代は、元来好奇心旺盛な性分なので、見聞を広めるべく旅行やゴルフ、ダイビング、スノーボード、音楽活動等々の趣味に明け暮れていました。
4月から消化器センターで研修させていただいています。毎日、学ぶことが多く、消化不良に陥っている日々ですが、先生方、スタッフの方々の暖かいご指導のもと楽しく研修させていただいています。
自分の無力さに日々落胆しながらも、自分のできることをこなしていきたいと思っております。ご迷惑をおかけしますが、一生懸命頑張らせていただきますので、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

 <small>写真はWEB版では 公開されていません</small>	北原 優	昭和大学卒業 5月 麻酔科 6月 内科
---	-------------	---------------------------

はじめまして。昭和大学出身の北原優と申します。
6年次の4月に北部病院で1ヶ月間実習させていただいた際に、とても温かいご指導を受け、ぜひ北部病院で研修をしたいと考えておりました。また実家が横浜市磯子区ということもあり、横浜で医療に従事できることを大変うれしく思っています。
高校時代にはボート部(レガッタ)に、大学時代はバドミントンに明け暮れる日々を送っていました。なぜかマイナースポーツに縁があるのですが、興味がある方がいましたら声をかけていただけると嬉しいです。
研修医として働き始め、自分の未熟さが身にしみる毎日です。今後とも諸先生方、スタッフの方々から多くのことを学び、患者さまや病院のためにお役に立てるよう日々努力を重ねていきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

 <small>写真はWEB版では 公開されていません</small>	小林 裕介	昭和大学卒業 5月 循環器センター(内) 6月 救急センター
---	--------------	--------------------------------------

はじめまして。昭和大学出身の小林裕介と申します。この度、北部病院で研修させていただくことになりました。
大学時代は馬術部に所属し、愛馬と風を切って走っておりました。
現在は循環器センター(内科)で研修させていただいております。研修が始まって2週間弱、電子カルテ操作や病棟処置などにも少しずつ慣れてきていますが、わからないことばかりで先生方・スタッフの皆様にはご迷惑をおかけしております。反省も多ですが、充実した毎日を送らせていただいております。
2年間の研修中、医師としてできるだけ多くの知識・技術・姿勢などを学びたいと思っております。日々少しずつでも前に進んでいこう、頑張っていきたいと思っておりますのでご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

 <small>写真はWEB版では 公開されていません</small>	鈴木 涼平	昭和大学卒業 5月 救急センター 6月 循環器センター(内科)
---	--------------	---------------------------------------

こんにちは、昭和大学出身の鈴木涼平と申します。
都筑区(旧緑区)に住んで25年、地元の北部病院で働けることを非常に嬉しく思っています。
大学時代はサッカー部に所属しておりました。機会があれば今後も球蹴りをしたいと思っております。
研修生活が始まり3週間が過ぎ、徐々に慣れてきましたが、皆様に迷惑をかける事が多く、早く役に立つ研修医になれるよう精一杯頑張っていきたいと思っております。2年間の研修においては、知識や技術だけでなく、社会人としての姿勢を身につけたいと考えております。
どうぞ温かいご指導の程、宜しくお願いいたします。